

110仕様

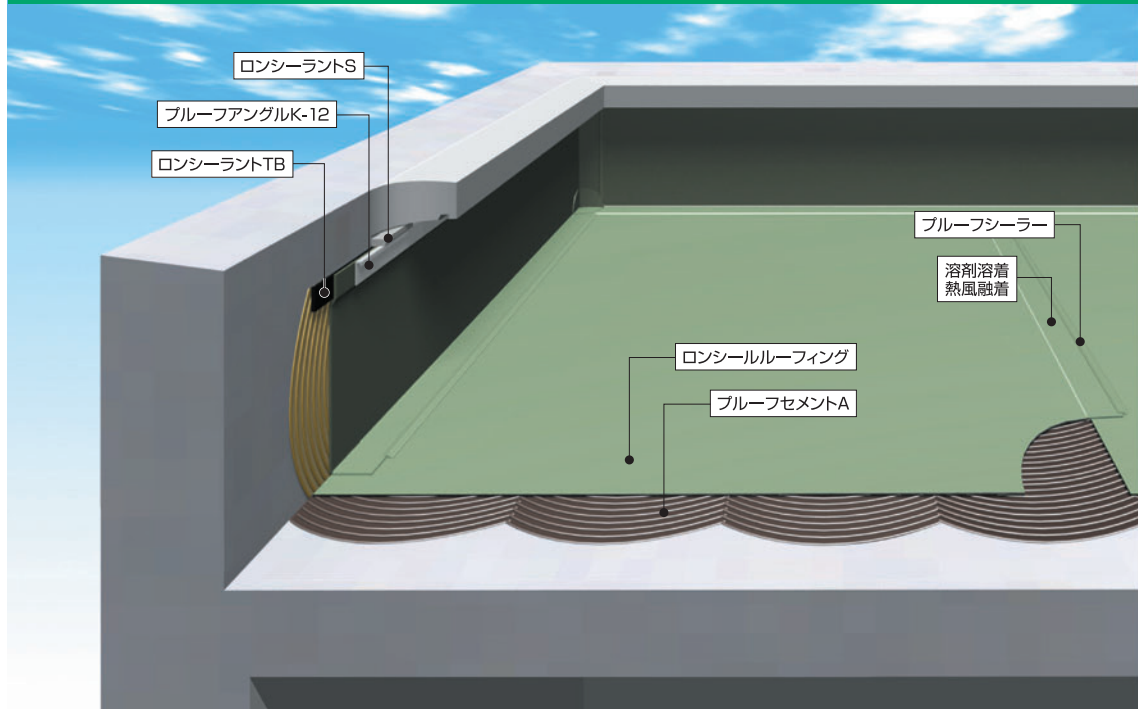
露出・接着・非断熱工法



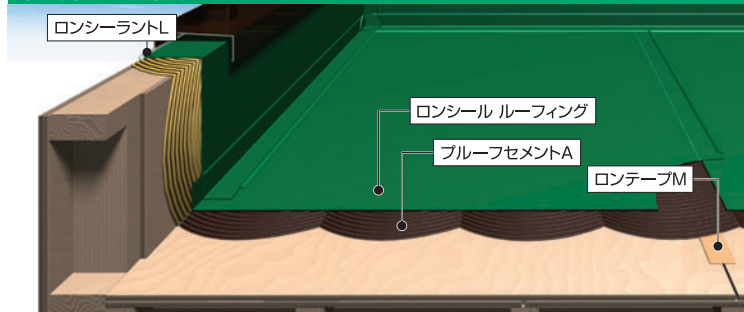
下地にエポキシ樹脂系接着剤を用いてシートを張りつける最も一般的な工法です。
(木質合板下地でも、飛び火認定を取得した防水システムです。)

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **S-F2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **S-F2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **S-PF**
適合仕様: LSN-110 / LA-110 ※左記仕様以外は、特記対応 適合仕様: BSN-110 / NBP-110 / BRS-110 / BP-110 ※左記仕様以外は、特記対応

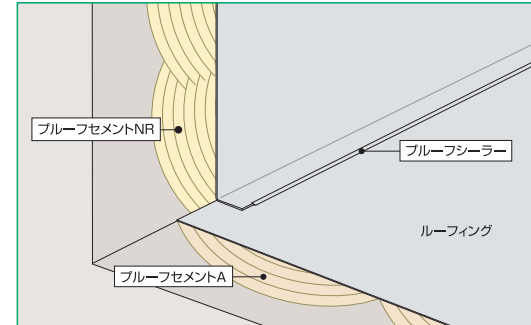
イメージ図 110仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



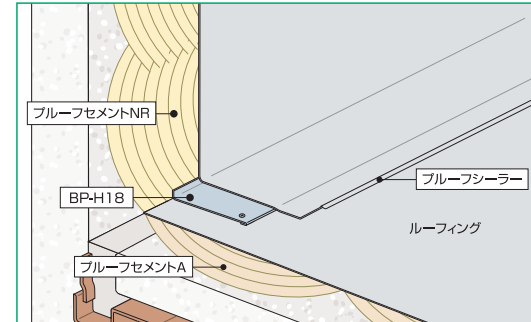
木質下地の場合 110仕様(木質下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



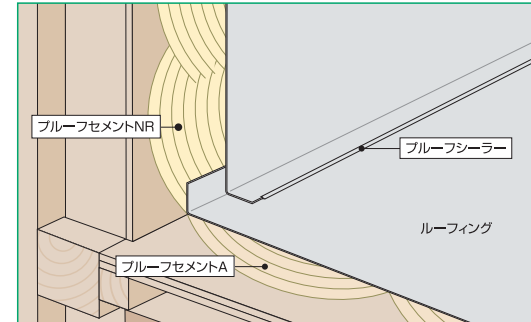
立上り部イメージ図(RC下地)



立上り部イメージ図(ALC下地)



立上り部イメージ図(木質下地)



仕様表

仕様記号		110	
		LSN-110 LA-110	BSN-110 BRS-110 NBP-110 BP-110
適応下地			
用途			
施工手順	1. 下地処理	ALC下地の場合: ロンバインダー(原液換算で50g/㎡) 金属下地の場合: ウレタンプラサフ(0.24kg/㎡)	
	2. 目地処理	RC以外の下地の場合: ロンテープM使用	
	3. 接着剤塗布	平場: [RC・PC・ALC・木質下地の場合] ブルーセメントA(0.35~0.45kg/㎡) [金属下地の場合] ブルーセメントNR(0.4~0.6kg/㎡・両面) 立上り: ブルーセメントNR(0.4~0.6kg/㎡・両面)	
	4. ルーフィング	ロンブルーファシャネツ(LSN) ロンブルーフェース(LA)	ベストブルーファシャネツ(BSN) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーフRS(BRS) ベストブルーフ(BP)
	5. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーシーラー	
	6. 端末処理	ブルーファンクル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	
耐火・防火 (P.183~188参照)		屋根一般仕様の場合	RC・PC・ALC下地: 下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。
		個別認定が必要な場合	木質下地: DR-0194・DR-0230・DR-0327取得済み (ベストブルーフRSは適用不可)

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 最適 最適 最適	 最適 対応可 対応可	防滑性床材 ○ 太陽光パネル設置工法 ○ ロンライン ○ 屋上緑化 ○ 保護材 ○ 保護塗料 ○ 脱気システム ○	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意

※(木質下地の場合)野地板は9mm厚2枚張りを原則とし、目地は重ならないようにします。飛び火認定取得条件ごとに制約がございます。
また、建築地域・用途によっても制約がございます。詳しくは個別ページをご参照ください(P.183~188)。認定の詳細につきましては
飛び火試験認定書をご確認ください。
※平場・立上りの下地・構造により入隅鋼板を併用する場合があります。

123仕様

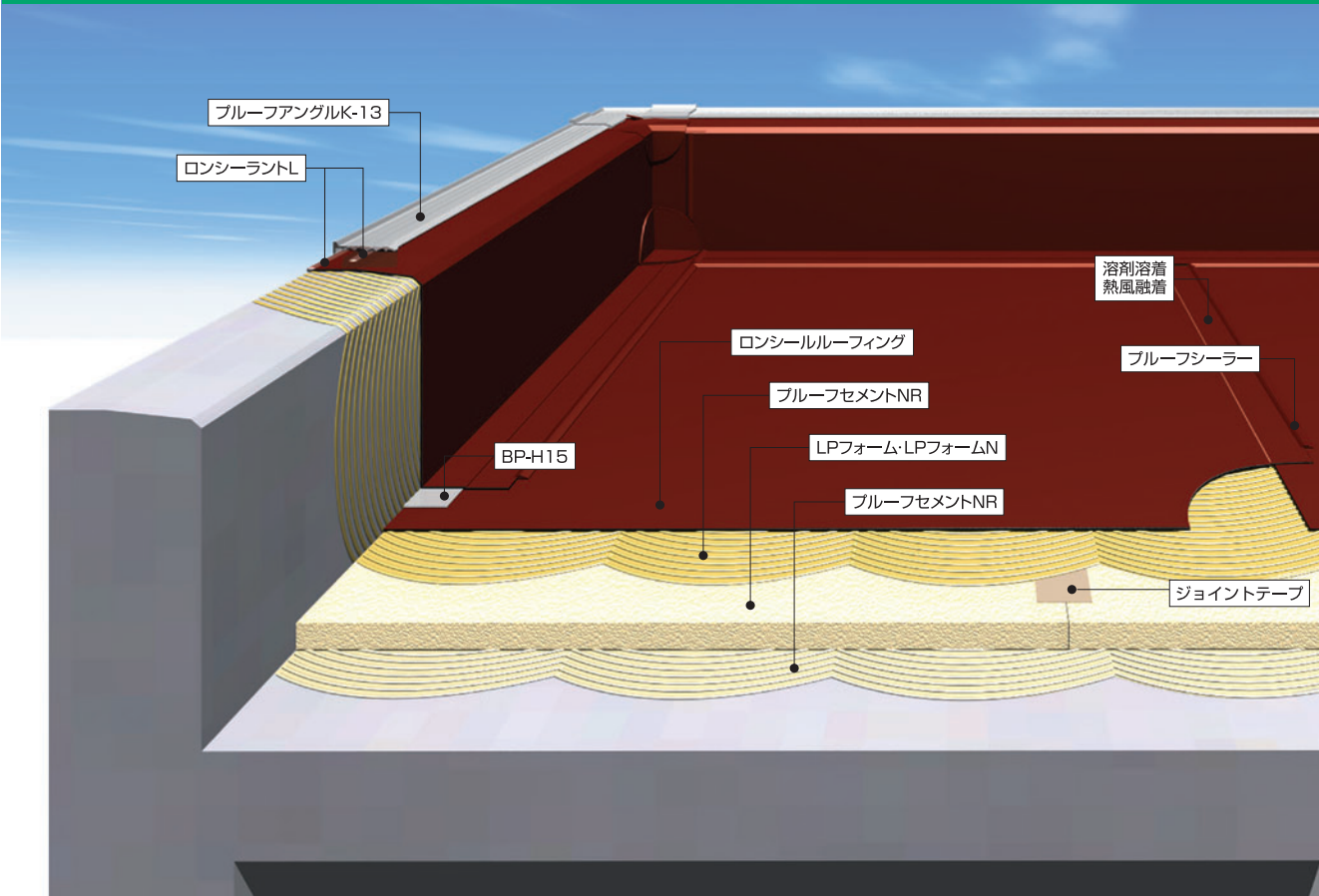
露出・接着・断熱工法



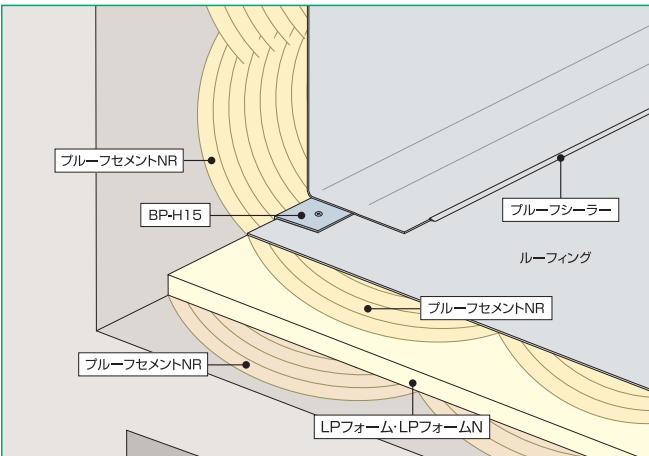
下地に断熱材を張り、その面にシートを張る工法。
吸水率の最も低い断熱材による断熱防水仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **SI-F2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **SI-F2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PFT**
適合仕様 : LSN-123 / LA-123 ※左記仕様以外は、特記対応 適合仕様 : BSN-123 / NBP-123 / BRS-123 / BP-123 ※左記仕様以外は、特記対応

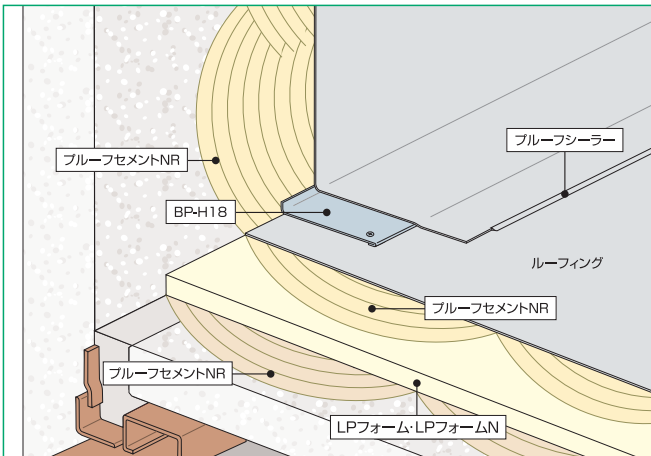
イメージ図 123仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



立上り部イメージ図 (RC下地)



立上り部イメージ図 (ALC下地)



仕様表

仕様記号		123		
		LSN-123 LA-123	BSN-123 NBP-123	BRS-123 BP-123
適応下地				
用 途				
施 工 手 順	1. 下地処理	ALC下地の場合：ロンバインダー(原液換算で50g/㎡) 金属下地の場合：ウレタンブラサフ(0.24kg/㎡)		
	2. 接着剤塗布	平場：ブルーセメントNR(0.4～0.6kg/㎡・両面)		
	3. 断熱材	LPフォーム・LPフォームN(架橋ポリエチレンフォーム) ※受注生産品 ジョイントテープ(目地処理)		
	4. 接着剤塗布	平場・立上り：ブルーセメントNR(0.4～0.6kg/㎡・両面)		
	5. ルーフィング	ロンブルーシャネツ (LSN) ロンブルーフェース (LA)	ベストブルーシャネツ (BSN) ニューベストブルーフ (NBP)	ベストブルーRS (BRS) ベストブルーフ (BP)
	6. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシラー		
	7. 端末処理	ブルーアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント		
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様 のみ	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。	
適応部位		改 修	オプション (P.57～80)	関連ページ
 最適 対応可		 最適 対応可 対応可	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 オンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム — △ ○ △ ○ ○ ○	ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123

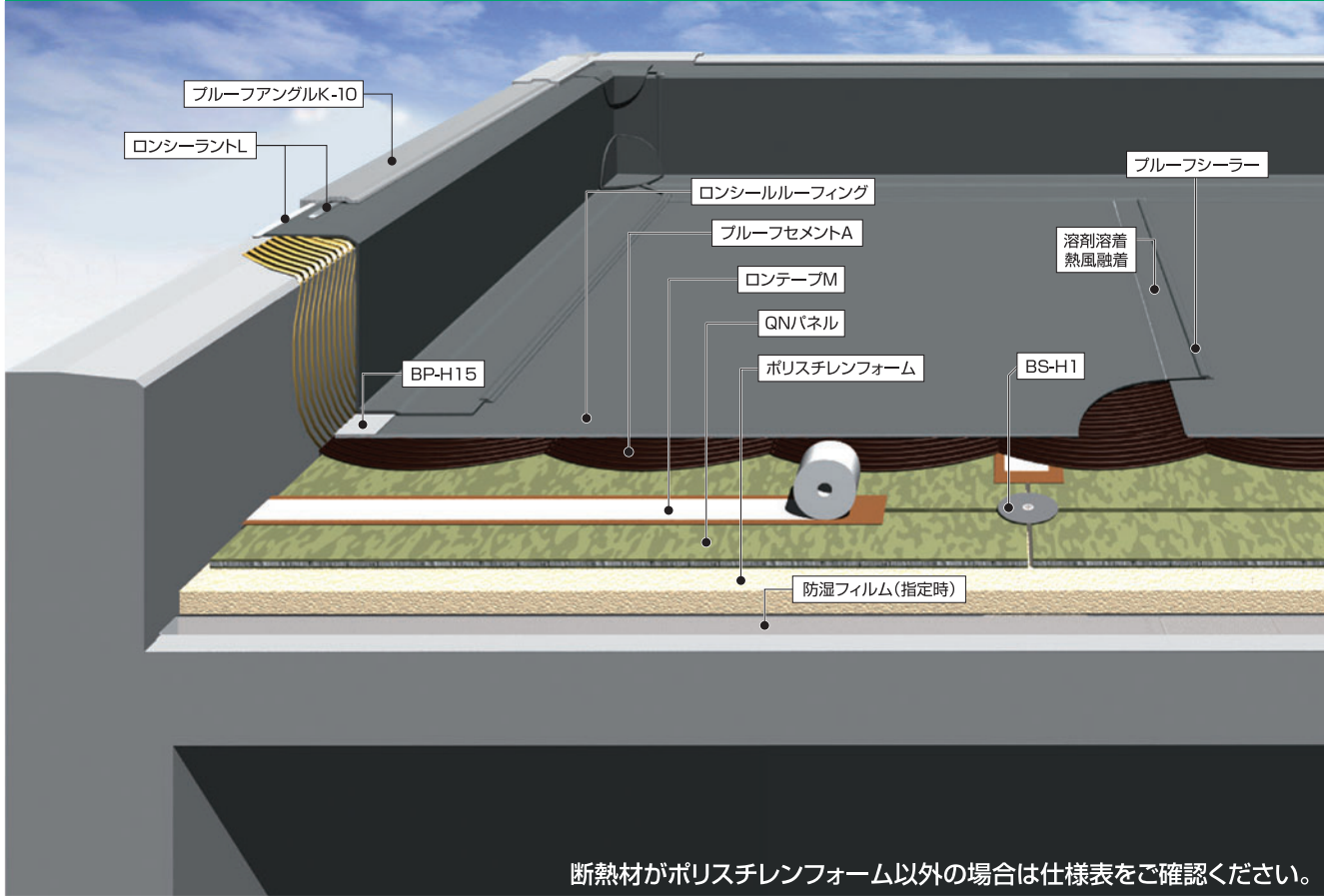
125・127仕様

環境対応型仕様 露出 接着 + 機械的固定 断熱 歩行

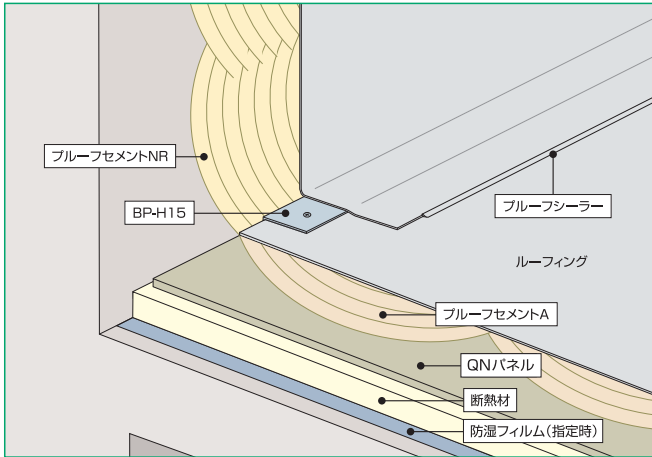
断熱材と無機質強化板を固定金具で固定。
堅固な下地を作ってシートを張る、歩行可能な断熱仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **S-F2相当(SI-F2相当・SI-M2相当)** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **S-F2相当(SI-F2相当・SI-M2相当)** 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **S-PF相当(S-PFT相当・S-PMT相当)**
適合仕様：特記仕様対応

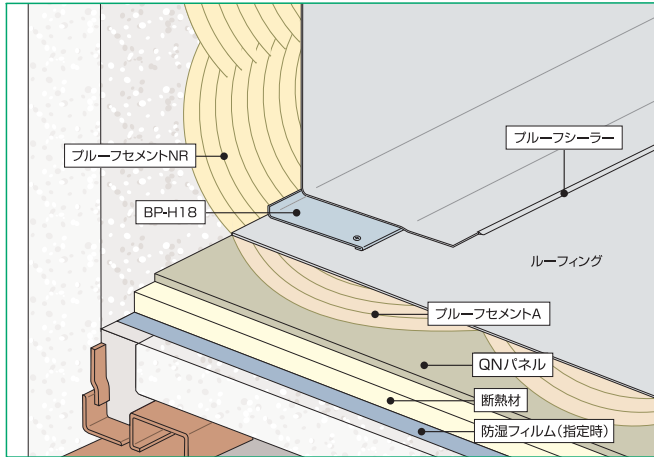
イメージ図 125仕様(RC下地)の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。



立上り部イメージ図 (RC下地)



立上り部イメージ図 (ALC下地)



露出・接着+機械的固定・断熱工法

仕様表

仕様記号	125	127
	LSN-125 LA-125	LSN-127 LA-127
適応下地		
用途		

施工手順	1. 防湿フィルム※1	防湿フィルム(断熱材固定に対し 国土交通省仕様 SI-M2(寒冷地域) / 建築学会仕様 S-PMT(寒冷地域) 指定時)	
	2. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)	硬質ウレタンフォーム (硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品
	3. 補強板	QNパネル(無機質強化板)	
	4. 機械的固定	RC・PC・ALC下地の場合：BS-H1 プラグ・ビス使用 およびEL注入 木質下地の場合：BS-H1 ステンレスビス使用	
	5. 目地処理	ブルーセメントNR(片面) ロンテープM使用	
	6. 接着剤塗布	平場：ブルーセメントA(0.35~0.45kg/m ² ・片面) 立上り：ブルーセメントNR(0.4~0.6kg/m ² ・両面)	
	7. ルーフィング	ロンブルーファネツ(LSN) ロンブルーフェース(LA)	
	8. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーシーラー	
	9. 端末処理	ブルーファングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	

耐火・防火 (P.183~188参照)	屋根一般仕様 の場合	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。
	個別認定が 必要な場合	RC・PC・ALC下地： DR-1852(21)(7)取得済み ※2 木質下地： DR-1852(15)(1)取得済み ※3

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 最適 最適	 最適 最適	防滑性床材 ○ 太陽光パネル設置工法 △ ロンライン ー 屋上緑化 ○ 保護材 ○ 保護塗料 ○ 脱気システム ○	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意

※1 防湿フィルムは特記指定時のみ適用されます。
※2 (RC・ALC下地の場合)断熱材は、ポリスチレンフォーム。ルーフィングにベストブルーRSは適用できません。
※3 (木質下地の場合)断熱材は、ポリスチレンフォーム。野地板の取り付けは木ネジ、スクリュー釘を使用。飛び火認定取得条件ごとに制約がございます。また、建築地域・用途によっても制約がございます。詳しくは個別ページをご参照ください(P.183~188)。認定の詳細につきましては飛び火試験認定書をご確認ください。ルーフィングにベストブルーRSは適用できません。

施工上の注意

QNパネルは突き上げ防止の為、5~7mmの目地をあけてください。

126仕様

RC限定

環境対応型仕様

露出

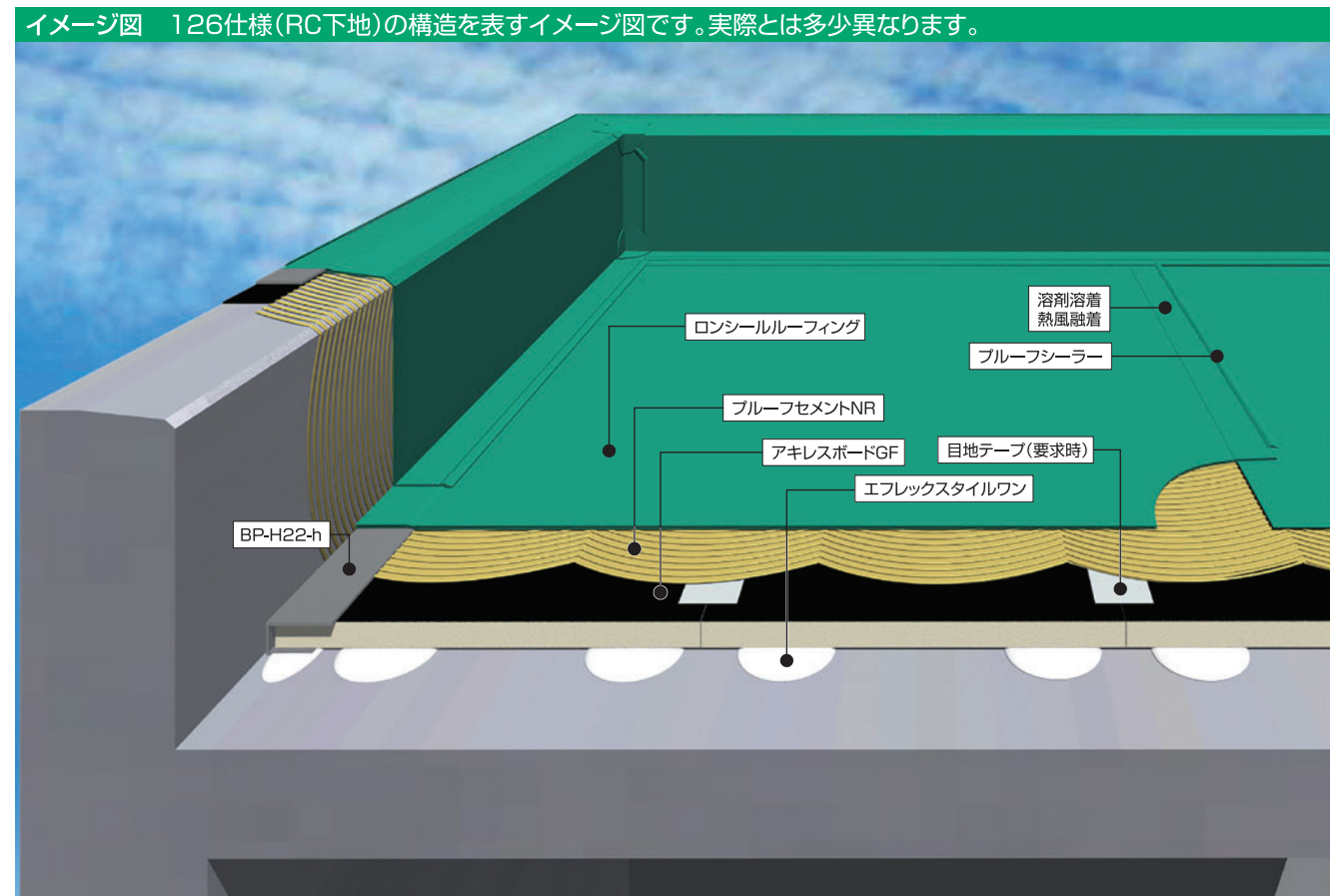
接着

断熱

非歩行
点検程度の歩行は可能

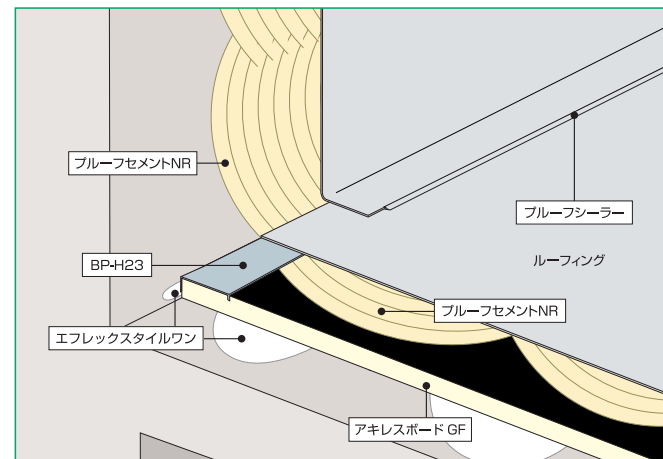
硬質ウレタンフォームの採用により、ポリエチレンフォーム断熱工法に比べすぐれた断熱性能を発揮。接着工法のため、耐風圧性・騒音の面でも安心な防水工法です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **SIF-2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **SIF-2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PFT**
適合仕様：LSN-126 / LA-126 適合仕様：特記仕様

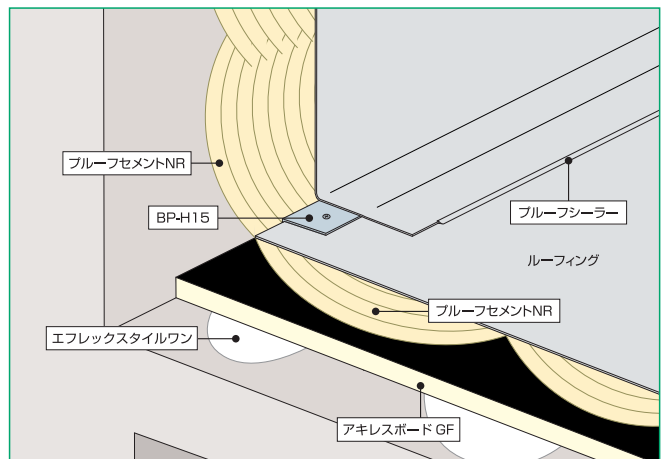


※鋼板、断熱材の固定は、プラグ・ビスを併用する場合もあります。

入隅鋼板 BP-H23 イメージ図



入隅鋼板 BP-H15 イメージ図(プラグ・ビスによる固定)



露出・接着・断熱工法 硬質ウレタンフォーム接着断熱工法

仕様表

仕様記号		126		
		LSN-126 LA-126	BSN-126 NBP-126	BRS-126 BP-126
適応下地				
用途				
施工手順	1. 下地処理	(下地状況により)モルタル処理・不陸調整		
	2. 入隅鋼板 接着剤固定※1	エフレックスタイルワン(変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤)+BP-H22-h・BP-H23-h(h:断熱材厚さ)等 プラグ・ビス使用 およびEL注入(要求時 または BP-H15使用時)		
	3. 断熱材 接着剤固定※1	エフレックスタイルワン(変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤)+アキレスボードGF(硬質ウレタンフォーム) 目地テープ(要求時)※2、BS-H1 プラグ・ビス使用 およびEL注入(要求時)		
	4. 接着剤塗布	平場・立上り：ブルーセメントNR(0.4~0.6kg/m ² ・両面)		
	5. ルーフィング	ロンブルーファネツ(LSN) ロンブルーフェース(LA)	ベストブルーファネツ(BSN) ニューベストブルーフ(NBP)	ベストブルーRS(BRS) ベストブルーフ(BP)
	6. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー		
	7. 端末処理	ブルーフアングル アルミ笠木 BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント		
耐火・防火 (P.183~188参照)		屋根一般仕様のみ	RC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。	

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
 陸屋根 最適	 コンクリート下地 最適	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 オンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	RC下地限定の工法となります。
施工上の注意	※1 鋼板、断熱材の固定は、プラグ・ビスを併用する場合もあります。 ※2 断熱材の目地・段差が大きい場合に使用します。

210仕様 [US工法]

環境対応型仕様

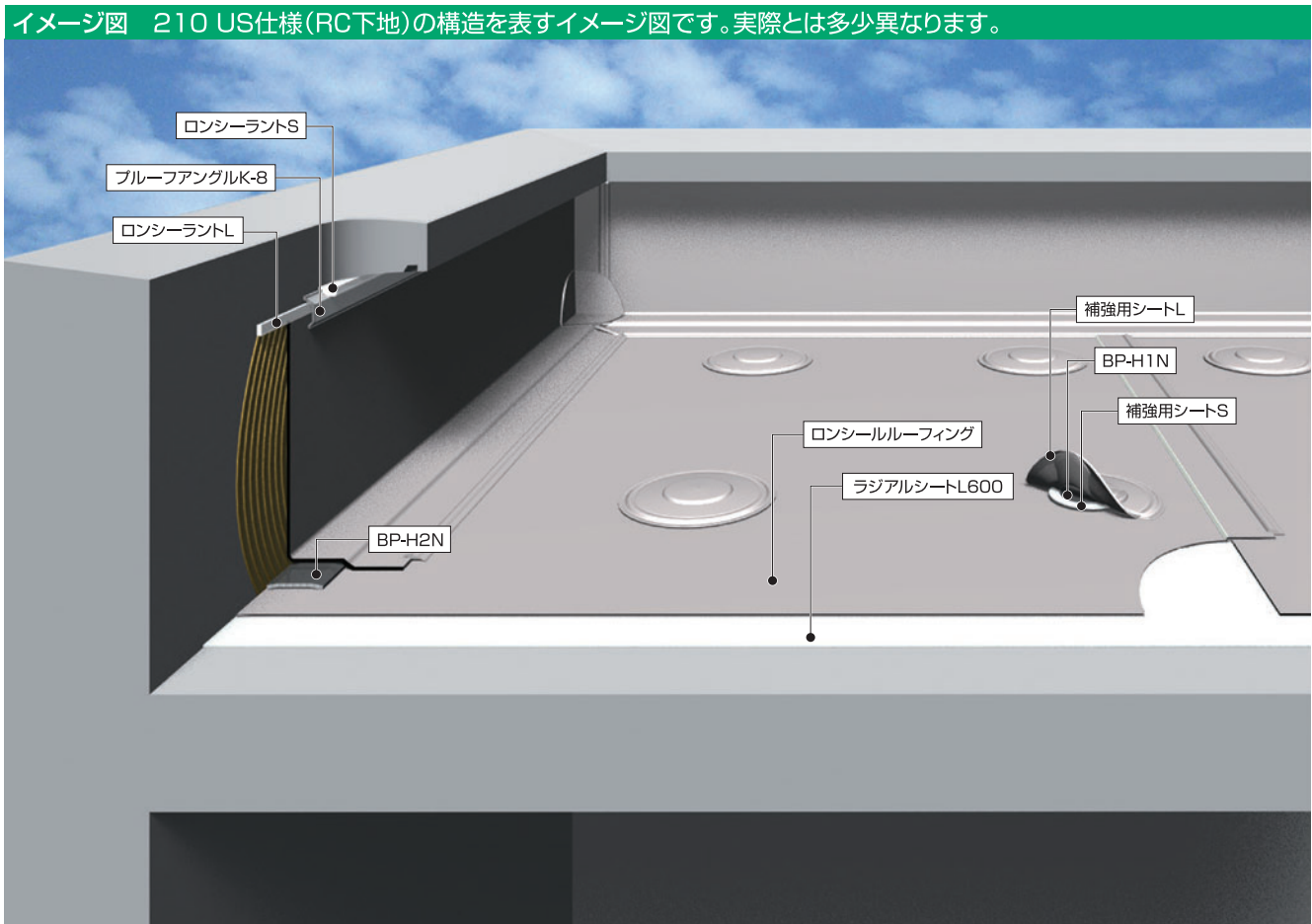
露出

機械的固定

歩行対応可
ルーフィング・下地による

接着剤を用いず、機械的にシートを固定。
施工時の気候条件や下地の影響を受けにくい仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **S-M2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **S-M2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PM**
適合仕様：BSN-210US / NBP-210US / BRS-210US / BP-210US ※左記仕様以外は、特記対応



〈入隅鋼板 後付け〉

立上り部接着工法 イメージ図

立上り部機械的固定工法 イメージ図

〈入隅鋼板 先付け〉

立上り部接着工法 イメージ図

立上り部機械的固定工法 イメージ図

※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

露出・機械的固定・非断熱工法

仕様表

仕様記号		210 US						
		LSN-210 US LA-210 US		BSN-210 US BRS-210 US NBP-210 US BP-210 US		BPα-210 US		
適応下地		RC PC ALC 金属 木毛セメント板						
用 途		歩行 非歩行 点検歩行○						
施 工 手 順	1. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600、ラジアルシートA						
	2. ルーフィング	ロンブルーファネット(LSN) ロンブルーフェース(LA)		ベストブルーファネット(BSN) ニューベストブルーフ(NBP)		ベストブルーフRS(BRS) ベストブルーフ(BP)		ベストブルーファルファ (BPα)
	3. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー						
	4. 機械的固定 固定部補強	RC・PC・ALC下地の場合 : BP-H1N プラグ・ビス使用 およびEL注入 金属下地の場合 : BP-H1N セルフドリルビス使用 ロンシーラント付け } + 補強用セット 木質系セメント板下地の場合 : BP-H1N ステンレスビス使用						

210仕様 [UD工法]

露出・機械的固定・非断熱工法

環境対応型仕様

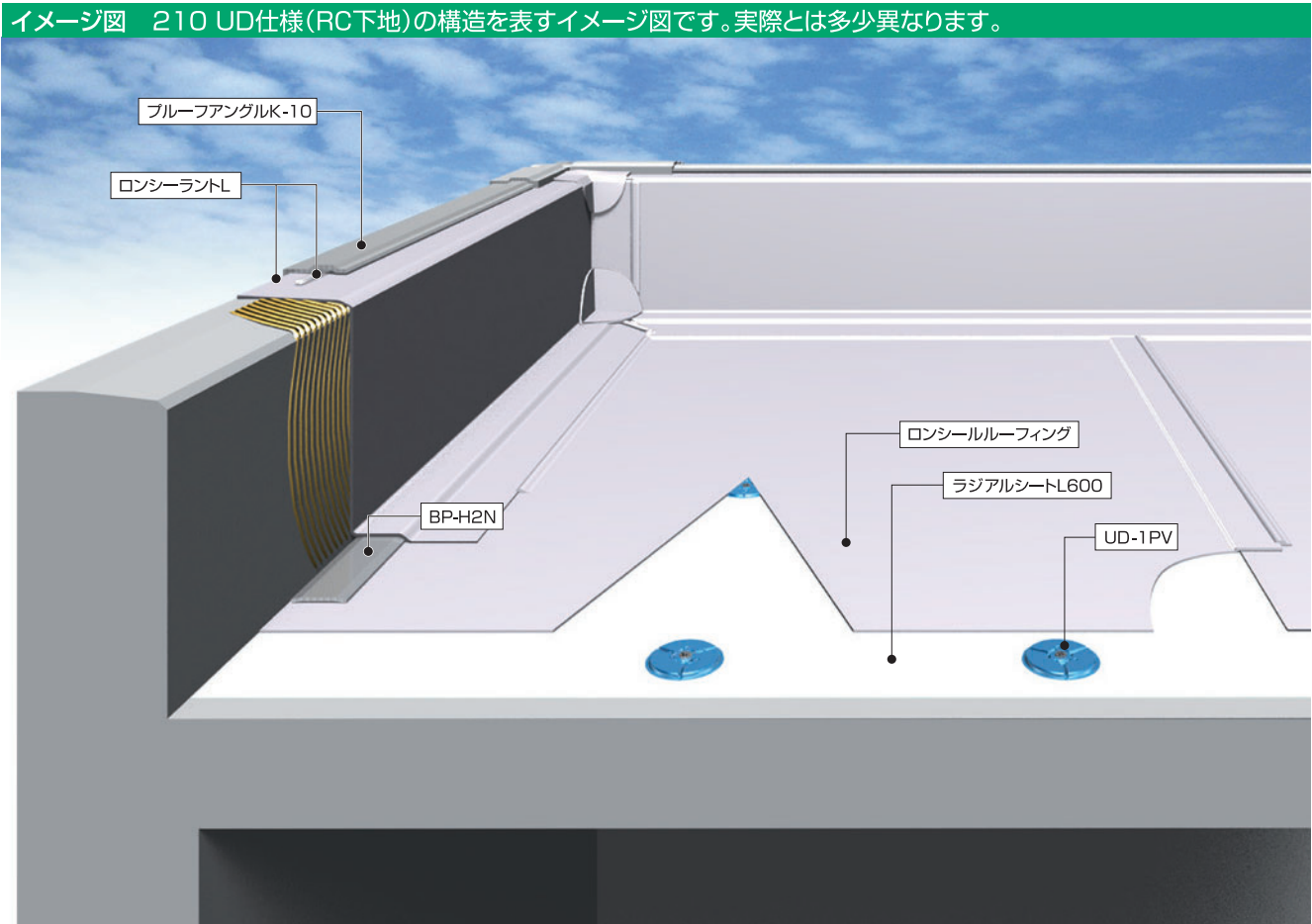
露出

機械的固定

歩行対応可
ルーフィング・下地による

接着剤を用いず、機械的にシートを固定。
先付け機械的固定工法により、美観と作業性を兼ね備えた防水仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **S-M2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **S-M2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **S-PM**
適合仕様：BSN-210UD / NBP-210UD / BRS-210UD / BP-210UD ※左記仕様以外は、特記対応



〈入隅鋼板 後付け〉

立上り部接着工法 イメージ図

立上り部機械的固定工法 イメージ図

〈入隅鋼板 先付け〉

立上り部接着工法 イメージ図

立上り部機械的固定工法 イメージ図

※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

仕様表

仕様記号		210 UD		
		LSN-210 UD LA-210 UD	BSN-210 UD BRS-210 UD NBP-210 UD BP-210 UD	
適応下地		RC PC ALC		
用 途		歩 行 非歩行 点検歩行○		
施 工 手 順	1. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600、ラジアルシートA		
	2. ディスク板固定	UD-1PV プラグ・ビス使用 およびEL注入		
	3. ルーフィング	ロンブルーファネット (LSN) ロンブルーフェース (LA)	ベストブルーファネット (BSN) ベストブルーRS (BRS) ニューベストブルーフ (NBP) ベストブルーフ (BP)	
	4. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー		
	5. 機械的固定	誘導加熱 (UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用)		
	6. 端末処理	ブルーファンダ BP鋼板 (絶縁テープ) ロンシーラント		
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様 のみ	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。	
適応部位		改 修	オプション (P.57～80)	関連ページ
陸屋根 勾配屋根 バルコニー 最適 最適 適応		コンクリート 下地 露出防水 下地 最適 最適	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 コンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123

設計上の注意

風の高い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。
金属下地に直接UD工法(先付け工法)で施工することはできません。木質系セメント板などを敷き込む、もしくはUS工法を推奨します。

施工上の注意

絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。
ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。
UD BOXはUDガイドを使用しディスクの中心に合わせて使用してください(UD BOX I-II使用時)。中心からずれると片ギキを起こし、十分な固定強度が得られません。圧着は必ず行ってください。
入隅鋼板およびディスクは強度を確保するため、下地目地にあたらない様に設定してください。

225・227仕様 [US工法]

露出・機械的固定・断熱工法

環境対応型仕様

露出

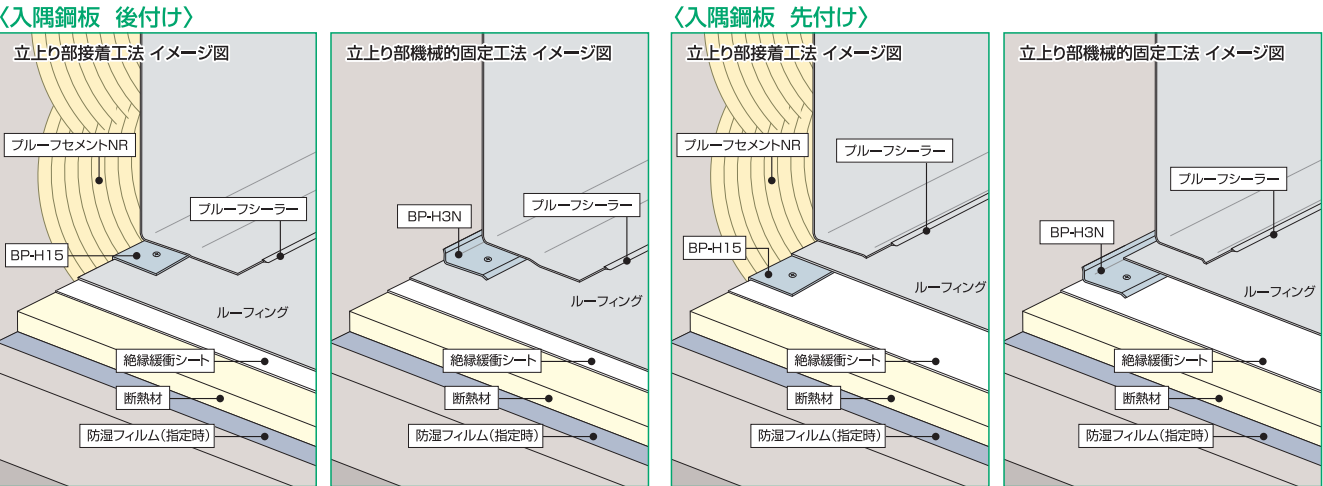
機械的固定

断熱

非歩行
点検程度の歩行は可能

断熱材とともにシートをUS工法（後付け工法）で機械的に固定。
風の強い地域や耐風圧性が求められる用途等に適した断熱仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **SI-M2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **SI-M2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PMT**
適合仕様：BSN-225・227US / NBP-225・227US / BRS-225・227US / BP-225・227US ※左記仕様以外は、特記対応



※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

仕様表

		225 US	227 US	
仕様記号		LSN-225 US BRS-225 US LA-225 US BP-225 US BSN-225 US BPα-225 US NBP-225 US	LSN-227 US BRS-227 US LA-227 US BP-227 US BSN-227 US NBP-227 US	
適応下地		RC PC ALC 金属 US仕様参照 P.41～48		
用 途		非歩行 点検歩行O		
施 工 手 順	1. 防湿フィルム※1	防湿フィルム(国土交通省仕様 SI-M2(寒冷地域) / 建築学会仕様 S-PMT(寒冷地域) 指定時)		
	2. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)	硬質ウレタンフォーム(硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品	
	3. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600、ラジアルシートA ※ベストブルーフα選択時は不要	_____	
	4. ルーフィング	ロンブルーファシャネツ(LSN) ベストブルーファシャネツ(BSN) ベストブルーFRS(BRS) ベストブルーフα(BPα) ロンブルーフェース(LA) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーフ(BP)		
	5. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー		
	6. 機械的固定 固定部補強	BP-H1N プラグ・ビス使用 およびEL注入 + 補強用セット(補強用シートS・L)		
	7. 補強部接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー		
	8. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント		
耐火・防火 (P.183～188参照)		屋根一般仕様 の場合	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。	
		個別認定が 必要な場合	RC・ALC下地 ： DR-0238取得済み (ベストブルーフ ナンネン限定(BPN-225US))※2 RC・PC・ALC下地： DR-1988、DR-1987取得済み (LFDシート使用、硬質ウレタンフォーム限定)※3	
適応部位		改 修	オプション (P.57～80)	関連ページ
陸屋根 勾配屋根 最適 適応		コンクリート 下地 露出防水 下地 最適 最適 227仕様の場合、露出防水下地：△対応可 コンクリート下地：△対応可	防滑性床材 — 太陽光パネル設置工法 △ ロンライン ○ 屋上緑化 △ 保護材 ○ 保護塗料 ○ 脱気システム ○	ルーフィング …P.81～84 主要副資材 …P.85～113 納まり図例 …P.114～123
設計上の注意		※1 防湿フィルムは特記指定時のみ適用されます。 ※2 (RC・ALC下地の場合)飛び火認定条件の断熱材は、ポリスチレンフォーム 100mm以下。 適用ルーフィングは、「ベストブルーフ ナンネン」のみとなります。詳細につきましては飛び火認定書をご確認ください。 ※3 (RC・PC・ALC下地の場合)飛び火認定条件の断熱材は、硬質ウレタンフォーム 150mm以下、LFDシート使用。 ルーフィングにベルトブルーフRSは適用できません。詳細につきましては飛び火認定書をご確認ください。		
施工上の注意		断熱材の敷き込みと同時に、断熱材の仮固定が必要となります。 絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。 ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。 入隅鋼板およびディスクは強度を確保するため、下地目地にあたらな様に設定してください。		

225・227仕様 [UD工法]

露出・機械的固定・断熱工法

環境対応型仕様

露出

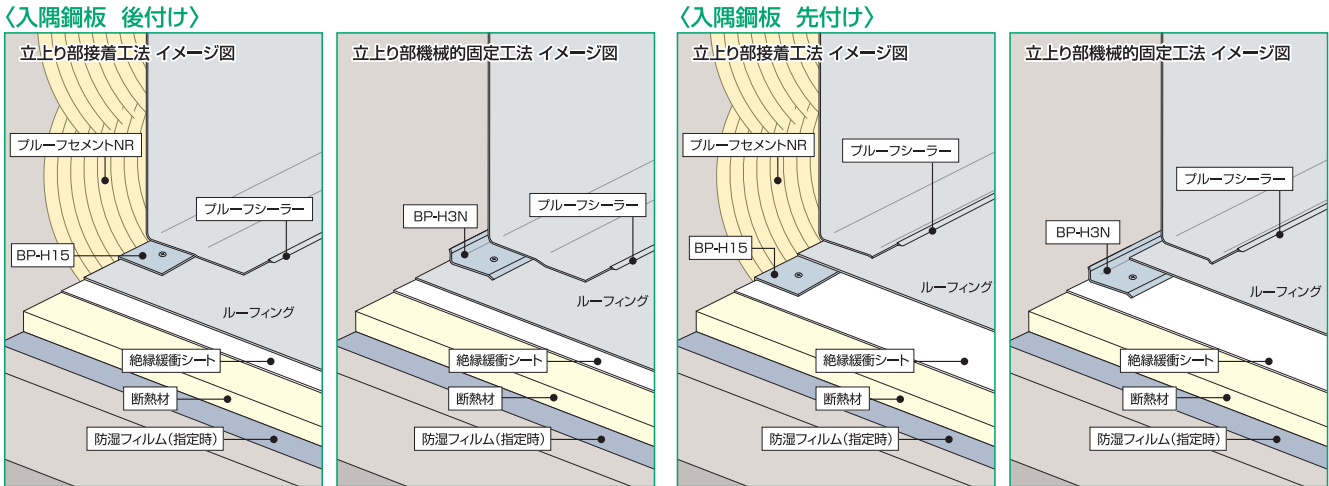
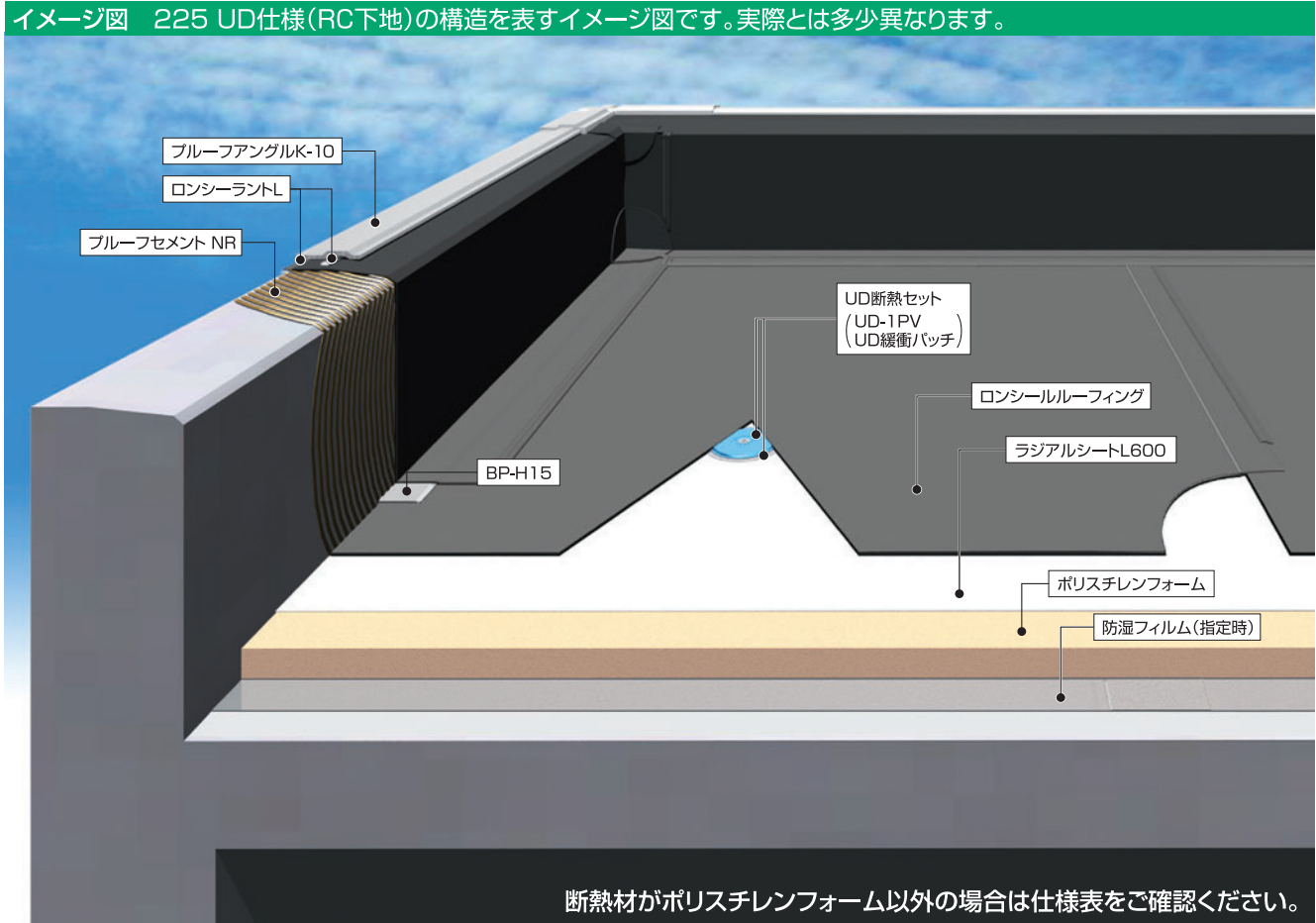
機械的固定

断熱

非歩行

断熱材とシートをUD工法（先付け工法）で機械的に固定。
改修工法としても最適な断熱仕様です。

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **SI-M2** 国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **SI-M2** 日本建築学会 建築工事標準仕様書 (JASS 8) **S-PMT**
適合仕様：BSN-225・227UD / NBP-225・227UD / BRS-225・227UD / BP-225・227UD ※左記仕様以外は、特記対応



※改修工事で立上り機械的固定工法の場合には、立上り面防水シートの下に絶縁緩衝シートが必要になります。

仕様表

		225 UD	227 UD
仕様記号		LSN-225 UD LA-225 UD	BSN-225 UD NBP-225 UD BRS-225 UD BP-225 UD
適応下地		RC PC ALC (金属 UD仕様参照 P.41~48)	
用途		非歩行	
施工手順	1. 防湿フィルム ^{※1}	防湿フィルム(国土交通省仕様 SI-M2(寒冷地域) / 建築学会仕様 S-PMT(寒冷地域) 指定時)	
	2. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)	硬質ウレタンフォーム (硬質ウレタンフォーム2種2号) ※受注生産品
	3. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600、ラジアルシートA	
	4. ディスク板固定	UD断熱セット(UD-1PV、UD緩衝パッチ) プラグ・ビス使用 およびEL注入	
	5. ルーフィング	ロンブルーファシャネツ(LSN) ロンブルーフェース(LA)	ベストブルーファシャネツ(BSN) ニューベストブルーフ(NBP) ベストブルーRS(BRS) ベストブルーフ(BP)
	6. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	
	7. 機械的固定	誘導加熱(UD BOX、UDガイド、UD圧着治具使用)	
	8. 末端処理	ブルーファアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	
耐火・防火 (P.183~188参照)		屋根一般仕様 の場合	RC・PC・ALC下地：下地同等と見なされるため、飛び火認定は必要ありません。
		個別認定が 必要な場合	RC・PC・ALC下地：DR-1988、DR-1987取得済み(LFDシート使用、硬質ウレタンフォーム限定) ^{※2}

適応部位	改修	オプション (P.57~80)	関連ページ
陸屋根 勾配屋根 最適 適応	コンクリート下地 露出防水下地 最適 最適 227仕様の場合、露出防水下地：△対応可 コンクリート下地：△対応可	防滑性床材 太陽光パネル設置工法 ロンライン 屋上緑化 保護材 保護塗料 脱気システム — △ ○ △ ○ ○ ○	ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123

設計上の注意	※1 防湿フィルムは特記指定時のみ適用されます。 風の強い地域・耐風圧性が求められる用途等には、US工法(後付け工法)を推奨します。 ※2 (RC・PC・ALC下地の場合)飛び火認定条件の断熱材は、硬質ウレタンフォーム 150mm以下、LFDシート使用。 ルーフィングにベルトブルーRSは適用できません。詳細につきましては飛び火認定書をご確認ください。
施工上の注意	絶縁緩衝シートの敷き込み時に、仮固定用接着剤「ロンタックセメント」の使用を推奨します。 ディスクの固定ピッチは、耐風圧計算に基づいて設定をしてください。 UD BOXはUDガイドを使用しディスクの中心に合わせて使用してください(UD BOX I-II使用時)。中心からずれると片ガキを起こし、十分な固定強度が得られません。圧着は必ず行ってください。 UD緩衝用パッチとUD-1PVを必ずセットで使用してください。UD緩衝パッチを使用しないと、UD-1PVの所定の接合強度が発揮できません。入隅鋼板およびディスク板は強度を確保するため、下地目地にあたらない様に設定してください。

310・325仕様

押え・部分接着・非断熱・断熱工法

環境対応型仕様

押え

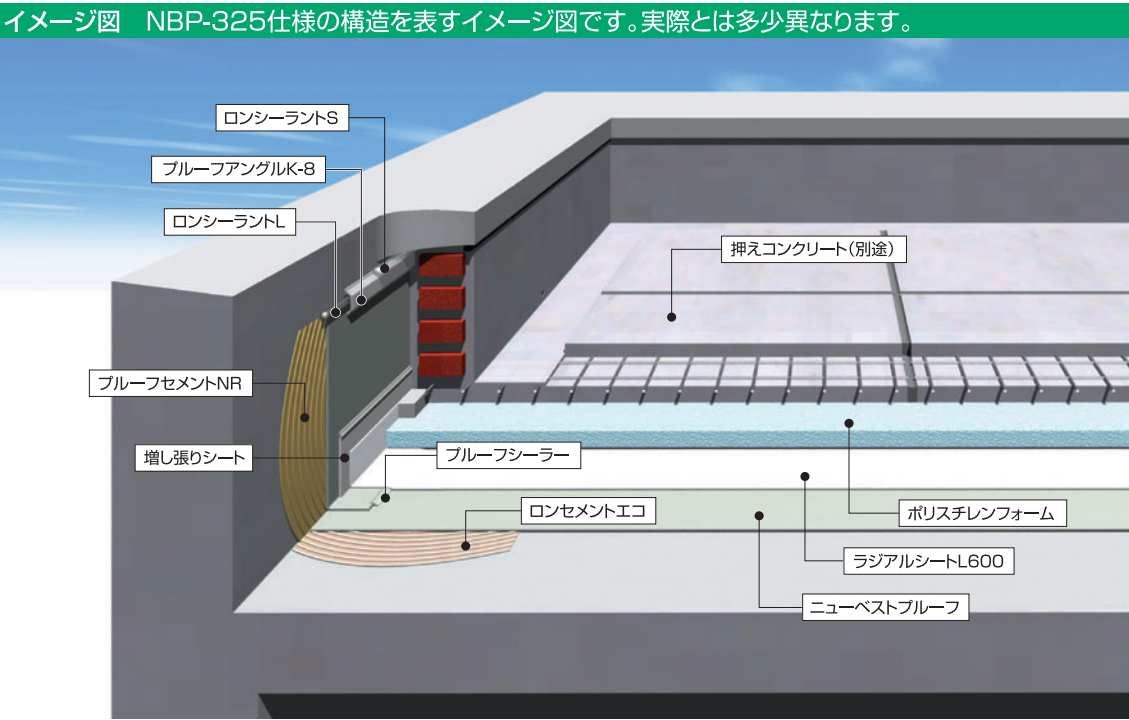
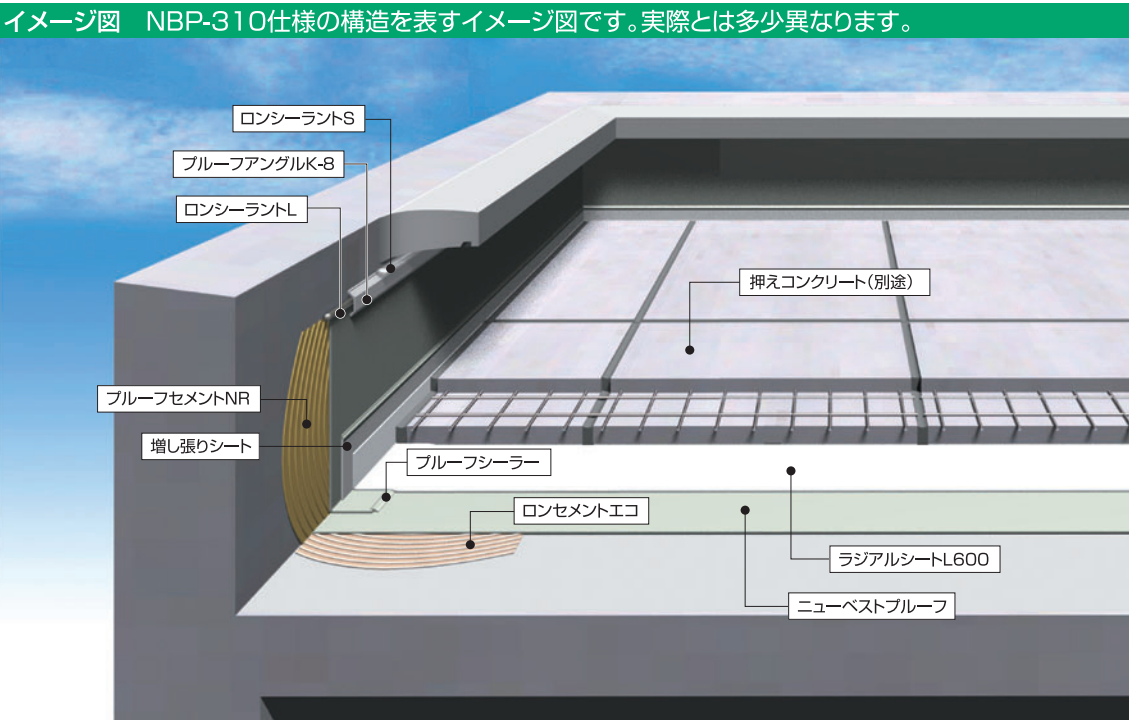
部分接着

断熱

重歩行

(325仕様)

下地にシートを部分的に接着し、
押え層を設ける工法。重歩行に耐える防水仕様です。



仕様表

仕様記号		押え工法 310	押え断熱工法 325
		NBP-310	NBP-325
適応下地		RC	
用途		重歩行	
施工手順	1. 接着剤塗布	平場 : ロンセメントエコ(0.1~0.2kg/㎡・部分的に使用) 立上り: ブルーセメントNR(0.4~0.6kg/㎡両面)	
	2. ルーフィング	ニューベストブルーフ(NBP)	
	3. ルーフィング接合	溶剤溶着 熱風融着 ブルーフシーラー	
	4. 端末処理	ブルーフアングル BP鋼板(絶縁テープ) ロンシーラント	
	5. 絶縁緩衝シート	ラジアルシートL600	
	6. 断熱材	ポリスチレンフォーム (押出法ポリスチレンフォーム3種bA)	
	7. 保護	押えコンクリート打設(別途)	
耐火・防火 (P.183~188参照)		最表面を不燃材料で覆っているため、飛び火認定は必要ありません。	
適応部位		改修	オプション (P.57~80)
陸屋根 最適 バルコニー 最適			防滑性床材 ○ 太陽光パネル設置工法 △ ロンライン - 屋上緑化 ○ 保護材 ○ 保護塗料 - 脱気システム ○
			関連ページ ルーフィング …P.81~84 主要副資材 …P.85~113 納まり図例 …P.114~123
設計上の注意		押えコンクリート打設時には入隅に成形緩衝材、入隅線から600mm以内に伸縮目地を入れてください。 押えコンクリート打設時の金ゴテによる防水層の損傷防止のため、増し張りシートの設置を推奨します。	